

目次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

- ア 定員充足の見込み ……p. 2
- イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要 ……p. 2-3

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

- ア オープンキャンパス ……p. 3-5
- イ 山梨県下高校生への公開授業 ……p. 5
- ウ 出前講義 ……p. 5-6
- エ 山梨県内高等学校と山梨大学との入学試験等に関する
情報交換会 ……p. 6

(2) 人材需要の動向等社会の要請

- ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） ……p. 7
- ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえた
ものであることの客観的な根拠 ……p. 7

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

本学医学部医学科の入学定員 125 人については、下記の理由から入学定員を十分に確保できると考えている。

文部科学省による学校基本調査では、高校卒業者数、大学等進学者数の変化は、表 1-1 及び表 1-2 のとおりとなっており、全国では高校卒業者数は減少しているが、大学等進学者数及び大学等進学率ともに増加している。山梨県では、高校卒業者数及び大学等進学者数は減少しているものの、大学等進学率は全国平均を上回っている。

本学医学部医学科の入学志願状況は、一般選抜は表 2-1、地域枠は表 2-2 のとおりである。

一般選抜、地域枠とも前年度より増加しており、安定して多くの受験者を確保している。

以上のことから、125 人の入学定員の設定は適切であり、今後も学生の確保は問題ないと考える。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

<表 1-1 進路別卒業者数（全国）>

年度	高校卒業者数	大学等進学者数	大学等進学率
H20	1,088,170 人	574,990 人	52.8%
R 1	1,037,284 人	578,341 人	55.8%
R 2	1,012,007 人	580,550 人	57.3%
R 3	990,230 人	588,919 人	59.5%

<表 1-2 進路別卒業者数（山梨県）>

年度	高校卒業者数	大学等進学者数	大学等進学率
H20	8,755 人	5,045 人	57.6%
R 1	7,888 人	4,497 人	57.0%
R 2	7,727 人	4,536 人	58.7%
R 3	7,541 人	4,513 人	59.8%

<表 2-1 山梨大学医学部医学科入学志願状況（一般選抜）>

年度	種別と定員	志願者数	志願倍率	第1段階選抜合格者	受験者数	合格者数	入学者数	定員超過率
H30	一般選抜(90)	1,256	14.0	900	338	104	92	1.02
R 1	一般選抜(90)	1,294	14.4	901	343	110	90	1.00
R 2	一般選抜(90)	1,107	12.3	900	309	108	90	1.00
R 3	一般選抜(90)	1,057	11.7	900	368	106	90	1.00
R 4	一般選抜(90)	1,621	18.0	904	261	106	90	1.00
R 5	一般選抜(90)	1,333	14.8	903	341	103	90	1.00

注) 1. 志願倍率は、小数点第2位を四捨五入。
2. 定員超過率は、小数点第3位を四捨五入。

<表 2-2 山梨大学医学部医学科入学志願状況（地域枠）>

年度	種別と定員	志願者数	志願倍率	第1段階選抜合格者	受験者数	合格者数	入学者数	定員超過率
H30	地域枠(35以内)	95	2.7	53	53	33	33	0.94
R 1	地域枠(35以内)	103	2.9	53	53	35	35	1.00
R 2	地域枠(35以内)	74	2.1	53	53	35	35	1.00
R 3	地域枠(35以内)	68	1.9	53	53	35	35	1.00
R 4	地域枠(35以内)	72	2.1	53	52	35	35	1.00
R 5	地域枠(35以内)	69	2.0	53	53	35	35	1.00

注) 1. 地域枠は、山梨県内高校出身者を対象とした入学試験。
2. 志願倍率は、小数点第2位を四捨五入。
3. 定員超過率は、小数点第3位を四捨五入。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

次の取り組みを通じ、積極的に学生確保を行っている。

ア オープンキャンパス

進学を希望する高校生とその保護者を対象にオープンキャンパスを開催している。内容は、本学の特色の説明、模擬授業、在学生による学生生活の説明、医師・研究者としての活動など、多岐にわたっている。参加者は、進学希望大学を決める前の高校2年生が中心となっており(表3-1)、参加者の高校所在地は山梨県内が多いが、隣県の長野県や静岡県、関東エリアからの参加者も多く見受けられる。(表3-2)

オープンキャンパスでは、平成30年度から午前と午後の2部制とし、事前申し込み定員を200人から300人に拡大したが、事前申し込みなしに当日直接来場する参加者も多い(表3-3)。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年度～5年度は対面でのオープンキャンパスは行わず、Web配信のみで対応している。

<表 3-1 オープンキャンパス申込者内訳>

単位：人

	高3年	高2年	高1年	既卒者	保護者	その他	計
H27	27	77	22	25	7	3	161
H28	29	74	16	15	14	1	149
H29	37	72	23	10	9	2	153
H30	45	101	73	28	13	2	262
R 1	40	100	64	26	21	4	255

注) H27 から H29 年度は、午後の部の大学説明への参加者のみ集計した。

<表 3-2 オープンキャンパス申込者在籍（出身）高校所在地内訳>

単位：人

	山梨県	長野県	静岡県	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県
H27	63	9	10	46	15	12	5
H28	60	9	8	42	12	9	4
H29	55	4	2	55	15	11	6
H30	110	21	16	64	17	16	4
R 1	110	16	7	60	17	11	8

	栃木県	群馬県	茨城県	新潟県	その他	計
H27	0	0	1	0	4	165
H28	2	5	1	0	5	157
H29	3	2	0	1	3	157
H30	1	0	3	0	10	262
R 1	3	5	5	0	13	255

<表 3-3 オープンキャンパス参加者数>

単位：人

	H27	H28	H29	H30	R 1
申込者	165	157	157	262	255
同伴者	97	89	88	129	131
参加者計	262	246	245	391	386

- 注) 1. 事前参加申込定員は、200 人。
2. 参加者数は、同伴者と当日受付者を含む。

イ 山梨県下高校生への公開授業

「山梨県下高校生への公開授業」は、大学の授業に触れる機会を通して学問の面白さ、様々な教育分野に触れる楽しさ、奥深さを理解してもらい、将来大学で学ぶ動機づけとなることを期待し、ブタの心臓を使用した「心臓病と心臓手術体験」などの医学部医学科に関する授業を、高校生向けに分かり易い内容で行っている。高校生が興味を抱くような講義を多数用意し、毎年7月下旬に約1週間に亘り実施している。(表4)

受講希望者が、募集定員を上回る人気のある講義も多い。

なお、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、開催を見送った。

<表 4 山梨県下高校生への公開授業参加者数>

単位：人

	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
授業数	23	22	—	22	26	36
募集定員	589	555	—	721	824	1,285
参加者数	572	615	—	634	788	1,015

- 注)：1. 対象は、医学部医学科の教員による公開授業。
2. 参加者数は、延べ数。

ウ 出前講義

「出前講義」は高大連携の一環としての全学的な事業であり、医学部医学科でも実施している。大学で学ぶ学問、研究の奥深さ、面白さを、出前講義を通じて体験することで、高校生のうちから学問・研究への意欲と興味を抱き、「学ぶ」意義を自ら見出し、大学での学びの動機づけとなることを期待している。

各年度の5月から12月の間、県内を中心とする高校からの求めに応じ、

直接教員が出向いて講義を行っている。医学部医学科の実施状況は、表5のとおりである。

<表5 出前講義実施数>

単位：件

	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
実施数	7(1)	13(3)	11(3)	12(3)	9(2)	1(0)

注) 1. 実施数は、延べ数。

2. () は県外高校の実施数で、内数である。

3. 令和5年度は、9月1日現在。

エ 山梨県内高等学校と山梨大学との入学試験等に関する情報交換会

高等学校進路指導教員への情報発信及び意見交換を目的として、毎年8月に「山梨県内高等学校と山梨大学との入学試験等に関する情報交換会」を実施している。

高等学校進路指導教員に対する貴重なアピールの機会となっており、地域枠への優秀な受験生の推薦依頼も行っている。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、普通科を設置している県内の公立高校16校、私立高校3校並びに県外の公立高校5校、私立高校1校が参加し、オンライン（Zoom）で開催した。

また、平成30年度からは、地域枠入試に受験生を推薦している高校長と医学部長、医学部入試委員会委員長等との意見交換会を開催しており、令和4年度からは進路指導担当教員の出席も求めている。大学からは医学科の現状や入試に関する説明を行い、高校長から受験生の現状や大学に対する率直な意見が述べられることにより、地域枠入試に関する相互理解を深める機会となっている。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学医学部医学科では、深い人間愛と広い視野を持ち、医の倫理を身に付け、科学的根拠に基づいた医学的知識、技術を備え、地域医療等に貢献できる医療人、研究者の養成を目指している。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

令和2年度の山梨県における人口10万人当たりの医師総数は、全国平均269.2人に対し、259.4人（資料1）と下回っており、平成20年度の211.8人（全国平均224.5人）（資料1）からは増加しているものの、依然医師不足は解消されていない。

山梨県は、県面積の約8割が山間地域という特性があり、地域別の人口10万人当たりの医師総数の内訳は、県都市部の中北地区における322.2人に対し、峡東地区では209.3人、富士・東部地区では168.0人、峡南地区では123.9人と大きな開きがあり、地域差が最大2.6倍と地域偏在が顕著となっている。（資料1）

このような状況により、山梨県から県内医療に従事する医師の養成について強い要望（資料2）があり、今後も医師不足と地域偏在の解消に向け、取り組みを推進していく必要がある。

なお、地域枠入試導入後の卒業生の県内就職率は、一般入試入学者の23.7%に対し、地域枠卒業生の県内就職率は90.5%と高く、地域枠制度は本県の医師確保の手段として大きな成果を上げている。（資料3）

医学部の収容定員変更の趣旨等を記載した書類資料一覧

資料 1 山梨県の医師の状況

資料 2 卒業生就職先内訳

資料 3 令和 4 年度学校基本調査（山梨県抜粋）

資料 4 令和 4 年度学校基本調査（全国抜粋）

資料 5 地域枠に関する山梨県と山梨大学との打ち合わせ要旨(2023/4/21)

山梨県の医師の状況

医師数

(単位：人)

	H20. 12. 31	H30. 12. 31	R2. 12. 31	増 減
全 国	286699	327210	339623	52924
山 梨 県	1845	2016	2101	256
中北地区	1257	1407	1481	224
内 峡中	1163	1234	1377	214
内 峡北	94	173	104	10
峡東地区	258	269	271	13
峡南地区	65	60	59	-6
富士・東部地区	265	280	290	25

人口10万人対医師数

(単位：人)

	H20. 12. 31	H30. 12. 31	R2. 12. 31	増 減
全 国	224. 5	258. 8	269. 2	44. 7
山 梨 県	211. 8	246. 8	259. 4	47. 6
中北地区	265. 0	305. 6	322. 2	57. 2
内 峡中	295. 6	337. 0	356. 2	60. 6
内 峡北	116. 4	142. 8	142. 3	25. 9
峡東地区	179. 5	202. 7	209. 3	29. 8
峡南地区	107. 3	120. 9	123. 9	16. 6
富士・東部地区	136. 5	159. 3	168. 0	31. 5

出展：医師・歯科医師・薬剤師調査

卒業生就職先内訳

卒業年度	地域枠入学者				一般入学者			
	卒業者数 (A)	医師国家試験 不合格者数 (B)	県内就職者数 (C)	県内就職率 (D=C/(A-B))	卒業者数 (E)	医師国家試験 不合格者数 (F)	県内就職者数 (G)	県内就職率 (H=G/(E-F))
平成25年度	24	0	20	83.3%	61	0	24	39.3%
平成26年度	27	0	21	77.8%	95	2	34	36.6%
平成27年度	27	0	24	88.9%	96	5	19	20.9%
平成28年度	36	3	22	66.7%	86	6	21	26.3%
平成29年度	25	2	21	91.3%	85	5	18	22.5%
平成30年度	40	1	39	100.0%	98	7	19	20.9%
平成31・令和元年度	35	1	34	100.0%	69	2	8	11.9%
令和2年度	36	0	36	100.0%	100	12	14	15.9%
令和3年度	32	2	30	100.0%	81	3	17	21.8%
令和4年度	34	1	33	100.0%	70	10	15	25.0%
計	316	10	280	91.5%	841	52	189	24.0%

注：就職者数は、卒業時の就職者である。

令和 4 年度
教育統計調査結果報告

学 校 基 本 調 査

山 梨 県

42 状況別卒業生数

(単位:人)

区分		計			公立			私立		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女
A 大学等 進学者	大学(学部)	4,149	2,371	1,778	2,833	1,553	1,280	1,316	818	498
	短期大学(本科)	333	44	289	266	39	227	67	5	62
	大学・短期大学の通信教育部	6	3	3	3	1	2	3	2	1
	大学・短期大学の別科	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高等学校専攻科	25	20	5	25	20	5	—	—	—
	特別支援学校 高等部専攻科	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	4,513	2,438	2,075	3,127	1,613	1,514	1,386	825	561
B 専修学校(専門課程)進学者		1,464	611	853	1,088	430	658	376	181	195
C 専修学校(一般課程)等入学者		209	141	68	158	107	51	51	34	17
D 公共職業能力開発施設等入学者		87	78	9	85	76	9	2	2	—
E 就職者等	自営業主等(a)	9	6	3	7	4	3	2	2	—
	常用労働者 無期雇用労働者(b)	1,062	697	365	921	614	307	141	83	58
	有期雇用労働者	9	6	3	8	5	3	1	1	—
	臨時労働者	22	7	15	20	5	15	2	2	—
上記以外の者		164	87	77	68	37	31	96	50	46
不詳・死亡の者		2	1	1	2	1	1	—	—	—
計		7,541	4,072	3,469	5,484	2,892	2,592	2,057	1,180	877
再掲	上記A,B,C,Dのうち就職しているもの(c)	1	—	1	1	—	1	—	—	—
	E有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者(d)	2	2	—	2	2	—	—	—	—
	就職者(a+b+c+d)	1,074	705	369	931	620	311	143	85	58

資料4

高等学校(全日制・定時制)卒業後の状況調査
281 状況別卒業生数(3-1)

区分	計	大学等 進学者 (A)	専修学校 (専攻課程) 進学者 (B)	専修学校一 等入学者 (C)	公立職業 能力開発 等入学者 (D)	就職者等(E)				(再掲)				専修学校(専 門課程)進学 率(%)	就職者(再 就職者の割 合) (%)			
						自営業主等 (a)	無期雇用 労働者 (b)	常用労働者	臨時 労働者	左記以外の 者	不詳・死亡 の者	左記A, B, C, Dのうち就職している者	自営業主等・ 無期雇用 労働者			雇用契約期 間が一年以上 かつフル タイム勤務相 当の者	左記E有期雇 用労働者のう ち雇用契約期 間が一年以上 かつフル タイム勤務相 当の者(占 当)	大学等進学 率
令和3年3月	102007	583550	593870	175185	42553	5769	2833	4487	63	29	213	84	1314	57.4	17.3	15926	15.7	
令和4年3月	990230	588919	581185	165906	37171	5805	2899	43248	46	270	127	143	1254	59.4	16.8	148887	14.7	
公立	682628	361922	369574	122715	23442	4736	2255	36376	26	178	110	68	876	54.4	18.5	121308	18.3	
私立	324864	225894	225894	43147	13466	866	344	16430	20	92	17	75	378	69.5	13.3	24569	7.6	
計の内訳																		
北海道	38179	19204	19180	8747	1159	153	61	1726	2	2	2	—	59	50.3	22.9	7100	18.6	
青森県	10337	5383	5370	1676	193	184	20	380	4	3	3	1	5	52.1	16.2	2505	25.4	
岩手県	10017	4675	4673	2153	182	207	3	243	3	2	2	—	3	46.7	21.5	2548	25.4	
宮城県	18434	9847	9836	3226	682	188	43	3566	5	6	3	3	2	54.0	17.5	3617	19.6	
秋田県	7055	3407	3404	1217	226	53	1	1720	—	9	—	9	92	48.3	17.3	1939	27.5	
山形県	8998	4450	4448	1726	204	207	3	139	—	1	1	—	10	49.5	19.2	2269	25.2	
福島県	15242	7444	7426	2673	655	390	14	41	—	7	5	—	10	46.8	17.5	3943	25.9	
茨城県	13053	1362	1352	671	103	252	48	109	—	2	1	—	2	47.6	19.4	3291	19.6	
栃木県	16401	8967	8958	3183	167	131	5	739	—	5	5	4	5	54.6	19.4	3291	19.6	
群馬県	16236	9160	9158	3159	464	131	37	629	—	40	15	34	1	56.4	19.5	2701	16.6	
埼玉県	54053	34244	34182	9705	1520	183	134	132	1	10	9	53	3	63.2	18.0	5880	10.9	
千葉県	46852	28763	28714	8800	1559	101	34	4863	2	3	2	16	16	61.4	19.2	4914	10.5	
東京都	98713	70555	70457	10847	5091	245	400	6813	2	4	2	174	15	71.5	11.0	4747	4.8	
神奈川県	64786	42779	42724	10797	1482	342	323	4497	4	3	1	2	30	66.0	16.7	4540	7.0	
新潟県	17172	8750	8624	4690	324	173	20	484	—	2	—	—	5	51.0	27.3	2717	15.8	
富山県	8517	4814	4812	1518	147	107	3	337	1	3	2	1	—	56.5	17.8	1583	18.6	
石川県	9995	6223	6223	1426	257	77	20	1778	—	25	1	—	6	60.3	14.3	1809	18.1	
福井県	6705	4013	4010	1023	117	79	7	1275	—	1	1	—	1	59.9	15.3	1294	19.1	
山梨県	4613	4607	4607	209	209	97	9	164	2	1	—	—	1	59.8	19.4	1074	14.2	
長野県	17397	9267	9267	3073	596	173	23	2002	—	23	1	—	38	53.4	21.1	2762	15.9	
岐阜県	16916	10003	9995	2481	459	132	34	3435	1	4	4	3	1	59.1	14.7	3472	20.5	
静岡県	30164	16818	16797	5081	1122	99	42	5838	6	4	3	1	15	55.8	16.7	5906	19.6	
愛知県	60818	37597	37572	8428	2377	499	204	138	2005	6	3	142	3	61.8	13.9	10132	16.7	
三重県	14607	7837	7833	2240	381	80	30	3575	1	1	1	—	2	53.6	15.3	3613	24.7	
滋賀県	12108	7196	7190	2005	247	62	28	604	—	—	—	—	2	59.4	16.6	1919	15.8	
京都府	21821	15568	15559	2884	571	88	35	1391	1	1	1	13	71.3	13.2	1456	6.7		
大阪府	68065	45305	45275	10064	2888	136	112	402	6	1	—	13	66.6	14.8	6126	9.0		
兵庫県	42454	28004	27986	5474	2455	79	88	1409	1	—	—	4	66.0	12.9	4889	11.5		
奈良県	10939	6935	6933	1385	357	6	25	1065	—	—	—	4	63.4	12.7	1114	10.2		
和歌山県	7816	4377	4373	1297	372	43	5	1402	—	1	1	7	9	56.0	16.6	1415	18.1	
鳥取県	4679	2552	2548	892	278	56	8	123	—	—	—	6	48.1	19.1	1068	22.8		
徳島県	5554	2720	2728	1276	69	94	1	244	—	—	—	7	49.2	23.0	1133	20.4		
岡山県	16274	8840	8835	3125	339	66	36	560	1	1	—	52	54.9	19.2	3200	19.7		
広島県	22196	14168	14159	2887	1461	127	128	2655	—	9	4	22	63.8	13.0	2806	12.6		
山口県	10260	4674	4667	1769	609	68	19	2636	—	—	—	5	45.6	17.2	2873	28.0		
徳島県	5742	3319	3315	937	143	62	11	136	—	—	—	4	57.8	16.3	1128	19.6		
香川県	8069	4556	4554	1435	388	78	15	290	—	—	—	63	56.5	17.8	1307	16.2		
愛媛県	10536	5884	5879	1976	350	47	7	185	1	5	3	2	6	55.8	18.8	2089	19.8	
高知県	5536	2968	2966	798	602	82	20	844	—	1	1	16	53.6	14.4	881	15.9		
福岡県	39841	22797	22779	6951	1894	158	96	135	1609	1	3	2	69	57.2	17.4	6182	15.5	
佐賀県	7440	3476	3474	1287	390	56	14	2048	—	56	39	17	—	46.7	17.3	2818	28.5	
長門県	11953	5576	5576	1835	192	203	20	209	—	—	—	15	46.7	17.3	2818	28.5		
熊本県	14383	6969	6969	2209	847	152	79	2000	1	49	2	47	28	47.9	18.8	3490	23.8	
大分県	9417	4747	4742	2019	216	77	11	232	—	16	15	4	4	50.4	21.4	2122	22.5	
宮城県	9272	4328	4316	1671	465	67	7	325	—	1	1	—	2	46.7	18.0	2411	25.0	
鹿児島県	13764	6405	6398	3003	598	143	22	3084	7	4	4	84	46.5	16.3	3194	23.2		
沖縄県	13820	6154	6154	3576	453	286	14	1544	—	2	2	—	118	44.6	21.8	1743	14.3	

1. 「自営業主等」とは、個人経営の事業を営んでいる者及び家族の専心事業に継続的に就業して就業する者という。
 2. 「常用労働者」のうち「無期雇用労働者」とは、雇用契約期間の定めのない者として就業する者という。
 3. 「臨時労働者」とは、雇用契約期間が1か月未満で期間の定めのある者という。
 4. 「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の高等学校等)に入学者、家事手伝いなど。
 5. 「卒業生に占める就職者の割合」とは、卒業生のうち「自営業主等(a)＋無期雇用労働者(b)＋「左記A, B, C, Dのうち就職している者(再掲)」＋「左記E有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)」の占める比率をいう。

地域枠に関する山梨県と山梨大学との打ち合わせ要旨

日 時 令和 5 年 4 月 21 日（金） 15:00～15:47
場 所 医学部管理棟 2 階中会議室
出席者 （山梨県医務課）若月課長、宮崎課長補佐、島田主任、小野主任
（山 梨 大 学）小泉医学部長、川端病院准教授、石原医学域事務部長、
仙洞田医学域学務課長、梶原参事

【打合せ内容】

● 山梨大学医学部医学科の地域枠定員について

(1) 臨時定員増について

山梨大学から、地域医療を支えていくためには大学病院と県内病院の両方の医師数を増やす必要があること、医師の働き方改革を遵守するためにも医師数の確保が必須であることから、引き続き医学科学生の新規臨時定員増の申請を行いたい旨発言があった。

これに対し、山梨県からも引き続き臨時定員増を維持してほしい旨要望があったため、令和 5 年度に引き続き、令和 6 年度についても、20 名の臨時定員増を申請することで合意した。

(2) 臨時定員増が廃止された場合の地域枠定員について

山梨大学から、今後臨時定員増が廃止された場合でも、当面は恒久定員の中から地域枠として 35 名の定員を確保していきたい旨発言があり、これに対し山梨県から、人口 10 万人当たりの医療施設従事医師数が中北医療圏以外は全国平均を下回っている現状と、医師の地域偏在を解消するためには地域枠の維持は不可欠であることから、今後も地域枠定員分の医師修学資金の確保で支援をしていきたい旨、発言があった。

(3) その他

上記のほか、地域枠卒業生の離脱防止（キャリア形成プログラム及びキャリア形成卒前支援プランの実施）や就業環境の整備等について、幅広く意見交換を行った。

以 上